

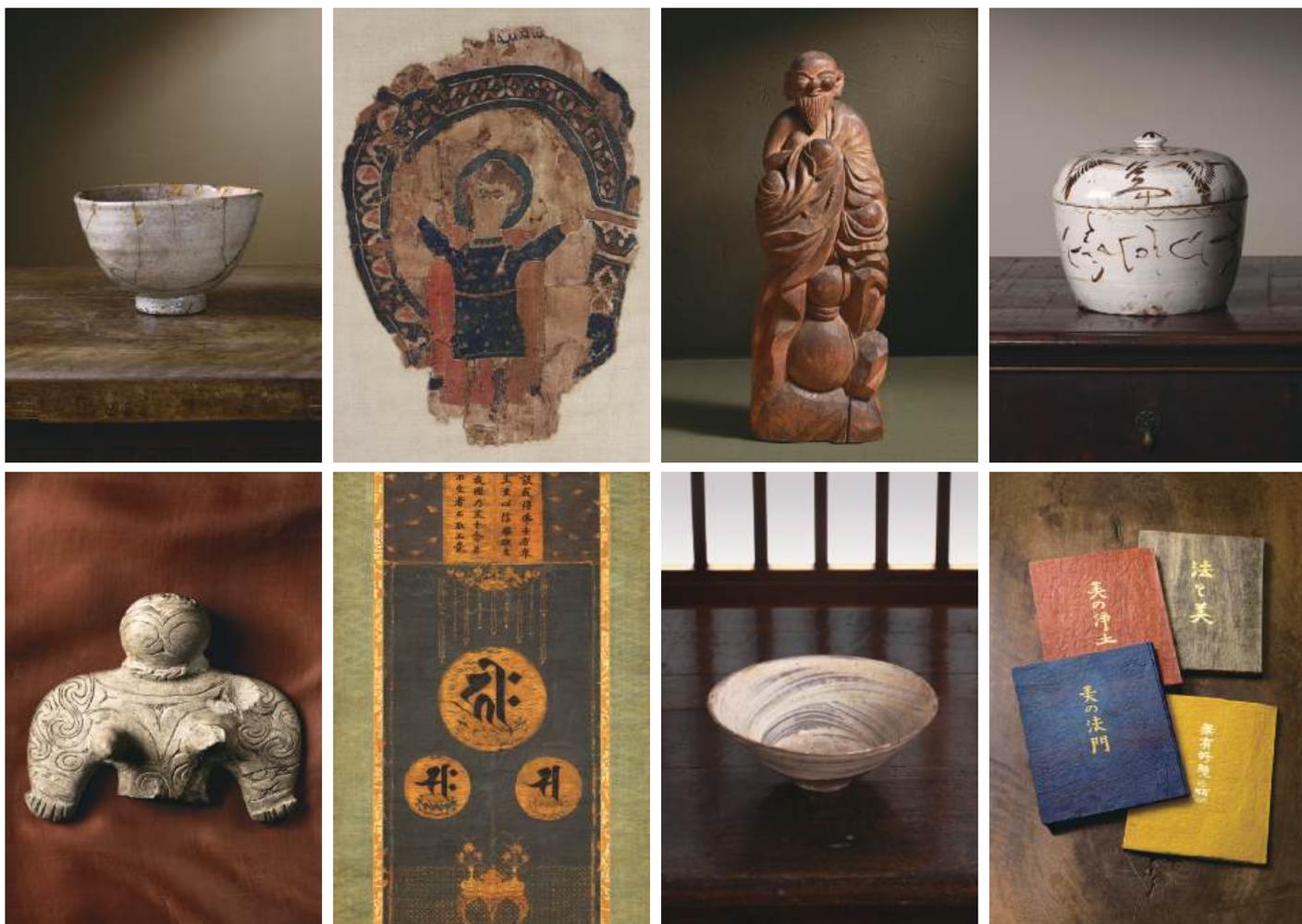
## 仏教美学

柳宗悦が見届けたもの 2025年1月12日(日) - 3月20日(木・祝)

日本民藝館

1949年、日本民藝館創設者の柳宗悦(1889-1961)は主著作『美の法門』を上梓し、仏教美学の基礎を標<sup>しる</sup>しました。柳はここで、浄土門の諸宗が根本経典とした『大無量寿経』の中にある第四願に着目、その願文から、人間が生み出す造形が本来「美醜なき美」の性を約束されていることに気付き、無銘の作り手がなぜ美しいものを生み出せるのか、という年来の疑問を氷解させます。そして自身がそれまで日本民藝館に蒐めた所蔵品を証しとして、その気付きを広く説いていきました。それは身の品々が宿している美を契機としても、浄土相を確認し得ることの宣言であり、私たちを大いなる法門へといざなう革命的な著述でもあったのです。

仏教美学の更なる探求と強固な構築を目指した柳は、1961年5月に歿するまで、途中病臥の生活を余儀なくされてからもその樹立を願い、留まることはありませんでした。本展では仏教美学に関わる原稿や書籍などの資料展示と共に、柳が1955年10月18日におこなった「東洋思想講座 第五回」(於・日本民藝館)の音源を基に制作した映像も初上映します。そして柳が直観で見届けた「美醜なき美」の具体的な作物の提示などと共に、柳が悲願とした「仏教美学」を顕彰<sup>けんしょう</sup>します。



左上より時計回りに、大井戸茶碗 銘「山伏」 朝鮮時代 16世紀 径16.1cm/聖人文裂 エジプト コプト時代 4世紀 縦76.0cm 個人蔵/自刻像 木喰明満 江戸時代 1801年 高73.8cm/白掛鉄絵蓋物 磁州窯 明時代 16世紀 高26.0cm/岩偶 岩手県 下閉伊郡岩泉町袋綿出土 縄文時代晩期 紀元前800年頃 高15.9cm/種子阿弥陀三尊図(部分) 絹地刺繍 鎌倉-南北朝時代 14世紀 縦94.5cm/刷毛目茶碗 朝鮮時代 15世紀後半-16世紀前半 径17.0cm/私版本『美の法門』『無有好醜の願』『美の浄土』『法と美』 柳宗悦著 1949-1963年/表面写真・キリスト像 フランス リモージュ 銅鍍金・エナメルほか 13世紀 高20.2cm 個人蔵

記念講演会「柳宗悦が仏教美学に托したもの」 | 講師・松井健(東京大学名誉教授) | 3月1日(土) 18:00-19:30 | 料金・500円(入館料別、要電話予約)

開館時間10:00-17:00(入館は閉館30分前まで) | 月曜休館(祝日の場合は開館し、翌日休館)  
 一般1200円、大高生700円、中小生200円 | 西館公開日(旧柳宗悦邸)・会期中の第2水曜、  
 第2土曜、第3水曜、第3土曜(開館時間10:00-16:30、入館は16:00まで) | 〒153-0041  
 東京都目黒区駒場4-3-33 ☎03-3467-4527 | 京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

<https://www.mingeikan.or.jp/>

## 日本民藝館

関連書籍『柳宗悦 仏教美学論集』A5判 予価2,200円(税込)  
 当館ミュージアムショップまたはオンラインショップでお求めください

